



# 対がん協会報

公益財団法人 日本対がん協会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町センタービル(マリオン)13F  
☎(03) 5218-4771 <http://www.jcancer.jp/>

2011年(平成23年)  
3月1日(毎月1日発行)  
**第569号**

主な内容	2面	UICC世界対がんデーシンポ
	4~5面	主な部位別75歳未満年齢調整死亡率都道府県順位
	6~7面	2009年度がん検診実施状況より

## 今年も30カ所にも

## リレー・フォー・ライフ ジャパン2011 5月の茨城で本格実施5周年記念イベントも

がん患者・家族を支援する「リレー・フォー・ライフ ジャパン2011」は昨年より10カ所増えて全国30カ所に広がりそうだ=表参照。京都や熊本などで初めて開催されるほか、東京や愛知では複数の開催が見込まれる。「24時間」という本格的な形式になって5年。5月の茨城・つくばでは記念イベントも計画されている。

初めての開催が決まっているのは、熊本市、愛知・稲沢、東京・世田谷、京都・亀岡の各地域。このほ



か、東京・吉祥寺や熊本・玉名などでも初開催が計画されており、今年の開催が30カ所を超える可能性もある。

今年5月14、15日の茨城・つくば(つくば研究学園駅前公園)からスタートし、熊本市(白川公園)が同月21、22日と続く。

つくば市は2006年にリレーが試験的に開催された記念の場所。本格実施されるようになった2007年から数えて5年目になるのを記念したイベントが企画されている。日本対がん協会では、研究者らと連携し日程などの調整がついた場所に行ってもらって患者たちとの交流も検討している。



リレー・フォー・ライフは、がん患者・家族を支援するための寄付を集めるために米国で始まった。そのリレーへの関心は国内でも年を追って高まっている。

2007年に2カ所だったのが08年は7カ所、09年14カ所、2010年20カ所に広がっている。ここ3年は年ごとに1.5倍になっている計算だ。

いつ、誰ががんになっても不思議ではない現在、いま闘病中の患者やその家族を支えることは、将来、自分ががんを患った場合には支えてもらえることにつながる。もちろん、新たな治療法の開発が患者・家族の願いであることは、いまも

昔も変わらない。加えて地域・職場のサポートも重視されるようになってきた。リレーは、こうした願いの実現につながる場と期待されている。

日本対がん協会では、リレーに寄せられた寄付を基に、さまざまな研究を支援することなどを目的とした「プロジェクト未来」を立ち上げた。年内にはさまざまな医師・研究者らに協力を求めて支援の仕組みづくりを目指す。

### 【開催が決まった地域と日程】

茨城・つくば	(つくば研究学園駅前公園)	5月14、15日
熊本市	(白川公園)	21、22日
愛知・稲沢	(稲沢市総合陸上競技場)	6月4、5日
沖縄	(北谷町の陸上競技場)	8月27、28日
北海道・室蘭	(道の駅「みたら室蘭」横)	同上
福島	(福島県立医科大学 陸上競技場)	9月3、4日
静岡・長泉	(静岡県立長泉高校跡地)	10、11日
兵庫・芦屋	(芦屋市川西運動場・体育館)	同上
愛知・岡崎	(暮らしの杜(JR岡崎駅東口))	17、18日
京都・亀岡	(亀岡野外活動センター)	同上
埼玉・川越	(川越市水上公園)	同上

**がんホットライン** 月~日 午前10時~午後6時  
03-3562-7830

日本対がん協会は、看護師や社会福祉士が、がんの不安や生活の悩みの相談に電話で応じる「がんホットライン」を開設しています。祝日を除く毎日午前10時から午後6時。相談時間は20分までで予約は不要です。このほか、事前の予約制で、専門医による電話や面接の無料相談も実施中です。予約やお問い合わせは月~金の午前10時から午後5時までに、03-3562-8015(予約専用電話)へ。

# 「がんは予防できる」テーマに講演

## UICC世界対がんデー公開シンポジウム



国際対がん連合(UICC)が提唱する「世界対がんデー」の2月4日、「がんは予防できるー世界と日本」をテーマとする公開シンポジウムが、北海道札幌市の札幌医科大学講堂で開かれた＝写真。

UICCは、がん問題の解決を目指して活動する世界組織で、日本対がん協会を含む各国の対がん運動組織、研究所、学会など世界122カ国・地域の396組織が加盟している。

日本における「世界対がんデー」の活動は、一昨年の公開シンポ「子宮頸がん征圧を目指して」(東京・東大安田講堂)、昨年の同「がん予防は子どもから」(東京・国立がん研究センター)に続いて3回目。200人が参加した今回は、UICC日本委員会、日本対がん協会に加え、北海道対がん協会、札幌がんセミナーが主催に加わり、東京以外では初の開催となった。

まず北海道対がん協会会長の菊地浩吉・札幌医科大

学名誉教授が主催者を代表して挨拶し、世界対がんデーの行事を実施する意義を強調した。

次いで、UICC日本委員会委員長の北川知行・癌研究会癌研究所名誉所長が、UICCの運動方針を説明した上で、「がんの原因となる感染(子宮頸がんのHPVや、胃がんのピロリ菌など)とタバコを『追放』すれば、がんの4割はなくせる」と指摘、がん予防の可能性と重要性を強調した。

国立がん研究センター研究所の望月友美子・たばこ政策研究・教育分野長は、「世界のがん予防戦略」について、世界で年間1270万人が、がんを宣告され、760万人が死亡、このままでは、2030年に、罹患者数、死亡者とも倍増する見通しであると述べた。

また、がんの三分の二は、予防できるか、早期発見・早期治療で治ることから、UICCや世界保健機関(WHO)が、がん対策の

世界キャンペーンを強化していると指摘、今年9月には、国連総会で、がんを含む諸疾患について地球規模の対策を協議する「サミット」が開かれる事などを紹介した。

日本禁煙学会理事の秦温信・札幌社会保険総合病院院長は、「たばこコントロール：遅れをとった日本」について、世界の先進国の中で、日本の喫煙率が高率であること、その中でも、北海道の喫煙率が最高水準にあると指摘。自らもかわる北海道における様々な禁煙の取り組みについて紹介した。

シャロン・ハンリー日本赤十字北海道看護大学準教授は、「子宮頸がん予防ワクチン：急速に動く世界」のテーマで講演。子宮頸がんを予防するHPVワクチンについて、昨年末現在、世界120カ国で認可され、そのうち、西欧諸国を中心に30カ国で、大規模な接種が実施されていると指摘した。

特に接種率が対象者の8～9割に達している英国と、同7～8割が接種しているオーストラリアの例を取り上げ、大規模な接種を実施するためには、接種自体への公的資金投入に加え、政府などによる学校教育や、マスメディアを使った親や子供たちへの普及啓発・広報活動が、成功のポイントになると述べた。

浅香正博・北海道大学大学院医学研究科消化器内科

学分野教授のテーマは、「ピロリ菌感染対策：胃がんも予防できる」。胃がんの大半はピロリ菌の感染によると指摘、除菌により胃がんの発生は減少するが、年齢が高くなるほど除菌の効果は限定的となるため、除菌とがん検診をどう組み合わせるかが重要だと指摘した。

また、ピロリ菌の感染率が5～10%と低い小児期に、ピロリ菌の検査を行い、陽性者はすべて除菌し、将来の「胃がん撲滅」につなげる国の政策が必要であると述べた。

札幌がんセミナー理事長の小林博・北海道大学名誉教授は、「子どもの力でがん予防」について、スリランカでの実践経験から、がん予防は子どもたちの教育から始め、親の意識、地域の意識を変えていくことが効果的であると強調した。

講演後のパネルディスカッションでは、がん予防、特に喫煙の規制、子宮頸がん予防、胃がん予防などについて、小中高校段階での「がん教育」が欠かせない、などの意見が出た。

また、日本では、「教育」と「健康」を担当する省が違い、行政の「壁」があることなどから、「がん教育」が進んでいないこと、一方、英国では、医療は原則無料で国の負担となるため、国は、教育も含めた「予防」に力を入れている、などの指摘があった。

# 最新治療法の研究や、患者・家族の支援のあり方……

## 厚生労働科学研究がん臨床研究成果発表会

今年度の厚生労働科学研究がん臨床研究成果発表会が2月17、18の両日、東京・築地の財団法人がん研究振興財団国際研究交流会館・国際会議場で開催された。胃がんや前立腺がん、肺がんなど個別のがんに対する最新の治療法の臨床研究のほか、地域に密着したがん診療の仕組み、さらにはメディアの及ぼす影響など、幅広い研究が相次いで報告された。

発表会は、公益財団法人日本対がん協会が主催し、46の研究成果が報告され、論議された。

国民の2人に1人ががんを患う時代、いつ、誰が発病してもおかしくはない。とはいえ、働き盛りだったり、子育て真っ最中だったりする人の場合は問題が深刻だ。発表会では、「がんになった親をもつ子どもの支援」も取り上げられた。もちろん、小児がん患者への支援も忘れてはいけない。小児がんの体験者が民間保険に入るための取り組みなども報告された。

地域の連携も欠かせない。とくにがん診療連携拠点病院を巻き込んだ地域連携クリティカルパスの課題

なども重要な課題だ。

日本では、がん登録に向けた取り組みが進められてはいるものの、まだまだ不十分だ。しかし、小児がんの標準治療や診断確立のために学会などが疫学的な登録を進めている例なども報告された。

このほか、子宮体がんの標準的な化学療法や、手術ができないほど進んだ胃がんについて、がんの大きさ



がん臨床研究成果発表会では発表への質問をきっかけに議論が続いた。

を小さくする手術などの研究が熱心に報告・論議された。

がんになっても半数の人たちは助かっている。それも多くの研究の積み重ねが治療法を進歩させてきたから。その一端が垣間見えた。

## 地域に根差した緩和ケアは？ 先進的な取り組み発表

### 意見交換会・シンポ

がん対策の中で非常に重要な意味をもつ緩和ケアだが、日本での取り組みはまだまだこれから。そんな緩和ケアの普及を図る意見交換会とシンポジウムが1月30日、東京・赤坂の日本財団ビル2階の会議室で開かれた。モデル的な研究を行っている4地域から先進的な取り組みの報告や、いかにして地域に根付かせるかなどの課題をめぐって

様々な意見が交わされた。

厚生労働科学研究費を受けた「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」(研究代表者・江口研二帝京大学教授)が主催したもので、医師や研究者、地域で緩和ケアに携わる看護師ら約140人が参加した。

山形県の鶴岡・三川地域では、「患者が希望すれば自宅で安心して療養できる環境を整える」といったこ

とを目標に、病院での看護師らへの学習会などを通じて緩和ケアのスキルアップを図るとともに、相談窓口の設置・情報の提供などを試みた結果、

病院での緩和ケア外来の受診者が増えるという状況がみられたことなどが紹介された。

千葉県柏地域の柏・流山・我孫子各市)からは、患者・家族に対し、マスコミやミニコミ誌、市民向けの健康イベントなどを通じた情報提供を図ったほか、民生委員や健康づくり推進員を対象とした講演会を開催するなどの活動が報告された。

静岡・浜松地域では、市民公開講座などを通じた患者・家族への情報提供や、在宅で使える緩和薬剤などをテーマにしたセミナーの開催を重ねて緩和ケア技術の向上などを行ったほか、がん診療連携拠点病院や行政との連絡会議も開催。長崎地域からは、早期の退院支

援のほか、自宅以外にも「在宅」の場を広げる工夫をしたり、家族以外の「介護力」の確保を探ったりといった対策を考慮して活動を行ったことなどが発表された。

こうした報告をもとに、さまざまな意見が交わされたが、大きな課題として、こうした研究プロジェクトが終わった後に、いかにして活動を続け、プロジェクトで培われたノウハウなどを定着させていくかといった点も浮かび上がった。

在宅など地域における緩和ケアの充実は、がん対策基本法が求めている。このプロジェクトは、その方策を探り、全国に普及を図るために必要なプロセスを作ることを目的として2008年に始まった。今後はフォローアップを行う予定。



緩和ケアの普及をテーマに意見が交わされた

# 主な部位別の75歳未満年齢調整死亡率の都道府県順位(2009年)

(人口10万対、国立がんセンターがん対策情報センターのホームページより)

全部位	男女		全部位 男		全部位 女		胃 男		胃 女		肝・肝内胆管 男		肝・肝内胆管 女		膵 男		膵 女		気管・気管支・肺 男		気管・気管支・肺 女		乳房 女		子宮		前立腺		大腸 男		大腸 女	
	率		率		率		率		率		率		率		率		率		率		率		率		率		率		率		率	
長野	71.1	長野	88.2	福井	49.3	沖繩	8.0	長野	4.0	長野	6.9	山形	1.9	沖繩	5.5	沖繩	2.8	長野	16.9	沖繩	4.3	三重	7.3	鳥根	2.8	長崎	1.0	岡山	9.8	香川	4.1	
山梨	73.5	山梨	96.3	三重	51.7	熊本	9.7	沖繩	4.5	新潟	7.8	長野	2.3	徳島	6.0	和歌山	3.2	山梨	17.8	山形	4.5	和歌山	7.4	鳥取	2.8	秋田	1.5	愛媛	9.8	鳥取	4.7	
福井	74.9	熊本	96.9	山梨	52.1	大分	13.1	福井	4.8	沖繩	8.0	茨城	2.4	宮崎	6.6	山梨	3.6	大分	18.7	福井	4.5	福井	7.6	岩手	2.9	高知	1.6	滋賀	9.9	山形	5.4	
三重	74.9	岡山	99.1	鳥根	52.2	鹿児島	14.2	熊本	5.0	山形	8.5	奈良	2.4	広島	6.8	佐賀	3.6	静岡	20.1	鳥根	4.7	佐賀	8.4	佐賀	3.3	香川	1.6	大分	9.9	山梨	5.7	
香川	75.4	三重	99.8	香川	52.8	長野	14.4	奈良	5.1	秋田	9.1	沖繩	2.5	群馬	7.0	三重	3.7	徳島	21.0	静岡	5.1	徳島	8.5	高知	3.4	三重	1.6	石川	10.1	徳島	5.9	
熊本	75.6	徳島	99.8	岡山	54.1	山梨	14.8	大分	5.2	富山	9.2	青森	2.5	香川	7.0	山形	3.8	神奈川	21.4	香川	5.1	滋賀	8.7	香川	3.4	宮崎	1.6	広島	10.3	大分	5.9	
岡山	75.7	香川	100.5	山形	54.4	滋賀	15.0	広島	5.3	宮城	9.4	新潟	2.5	栃木	7.1	鳥取	3.8	群馬	21.5	滋賀	5.3	宮崎	8.8	三重	3.5	愛媛	1.7	山梨	10.3	愛媛	6.1	
大分	76.1	滋賀	100.9	沖繩	54.7	岡山	15.0	岩手	5.5	三重	9.5	三重	2.5	富山	7.2	熊本	3.9	宮崎	21.7	岩手	5.3	広島	9.0	岡山	3.5	奈良	1.9	奈良	10.9	熊本	6.3	
沖繩	77.9	沖繩	101.5	大分	54.9	広島	15.2	三重	5.6	岩手	9.7	岡山	2.6	鹿児島	7.5	群馬	4.0	鹿児島	21.7	秋田	5.4	鹿児島	9.0	福井	3.5	岐阜	1.9	長野	11.0	奈良	6.4	
広島	78.1	静岡	101.5	広島	55.2	三重	15.2	徳島	5.6	神奈川	10.2	秋田	2.8	山口	7.9	香川	4.4	千葉	21.8	長野	5.6	鳥根	9.2	和歌山	3.6	富山	1.9	香川	11.0	福井	6.4	
徳島	78.5	大分	101.5	長野	55.7	福井	15.3	宮崎	5.6	愛知	10.5	静岡	2.8	山梨	7.9	大分	4.5	岡山	21.8	茨城	5.8	福島	9.2	滋賀	3.6	長野	1.9	熊本	11.0	沖繩	6.5	
山形	78.6	群馬	101.7	奈良	56.0	静岡	15.7	宮城	5.8	埼玉	10.6	富山	2.8	埼玉	7.9	福井	4.6	鳥根	21.9	長崎	5.8	新潟	9.2	福島	3.7	石川	2.0	三重	11.5	石川	6.5	
静岡	78.8	福井	103.3	熊本	57.1	徳島	15.7	鳥根	5.8	東京	11.1	埼玉	2.8	岡山	7.9	石川	4.6	滋賀	22.0	宮崎	5.8	兵庫	9.4	広島	3.8	山形	2.0	静岡	11.6	広島	6.5	
富山	79.1	神奈川	103.4	富山	57.5	宮崎	15.9	石川	5.8	石川	11.3	福島	2.9	熊本	7.9	奈良	4.6	山形	22.0	福島	5.9	宮城	9.4	兵庫	3.8	新潟	2.0	鳥根	11.9	鹿児島	6.6	
滋賀	79.4	広島	103.5	和歌山	57.6	群馬	16.5	鹿児島	5.8	福井	11.4	神奈川	3.0	岐阜	8.0	富山	4.6	栃木	22.1	富山	5.9	香川	9.5	富山	3.8	大阪	2.1	山形	11.9	宮崎	6.7	
鳥根	79.7	愛知	103.7	静岡	58.2	京都	16.8	山梨	6.0	奈良	11.6	北海道	3.0	兵庫	8.2	徳島	4.6	愛媛	22.1	新潟	6.0	奈良	9.6	山梨	3.9	茨城	2.1	高知	11.9	静岡	6.8	
奈良	79.7	富山	103.7	新潟	59.2	東京	16.9	富山	6.0	滋賀	11.6	石川	3.1	福岡	8.4	山口	4.6	熊本	22.1	徳島	6.0	大分	9.8	東京	3.9	京都	2.1	兵庫	12.0	兵庫	6.8	
群馬	80.7	岐阜	104.6	鳥取	59.3	香川	17.0	東京	6.1	福島	11.8	愛知	3.1	三重	8.5	愛知	4.7	富山	22.1	岡山	6.1	熊本	10.1	大分	4.0	沖繩	2.2	長崎	12.0	秋田	6.9	
愛知	81.8	石川	105.2	滋賀	59.7	神奈川	17.0	静岡	6.2	栃木	11.9	千葉	3.2	神奈川	8.5	新潟	4.7	秋田	22.2	山梨	6.3	茨城	10.2	新潟	4.0	山梨	2.2	岐阜	12.1	茨城	7.0	
神奈川	82.2	山形	106.1	徳島	59.7	愛知	17.2	高知	6.4	千葉	12.2	鳥根	3.2	静岡	8.5	千葉	4.7	岩手	22.2	愛媛	6.5	山梨	10.3	宮城	4.0	鳥取	2.3	和歌山	12.1	栃木	7.1	
石川	82.7	奈良	106.2	佐賀	59.8	北海道	17.5	京都	6.4	群馬	12.4	東京	3.2	京都	8.5	岩手	4.7	京都	22.3	大分	6.5	高知	10.3	神奈川	4.0	和歌山	2.3	京都	12.3	岡山	7.2	
新潟	82.9	京都	106.6	愛媛	60.1	鳥根	17.7	北海道	6.5	岐阜	12.5	群馬	3.2	山形	8.5	岡山	4.7	茨城	22.4	広島	6.5	沖繩	10.6	奈良	4.1	広島	2.3	福井	12.4	富山	7.2	
愛媛	83.3	栃木	107.1	兵庫	60.3	長崎	17.8	神奈川	6.5	香川	12.6	京都	3.4	高知	8.8	鹿児島	4.7	埼玉	22.7	栃木	6.5	愛媛	10.6	石川	4.1	岩手	2.4	徳島	12.4	佐賀	7.3	
宮城	83.5	千葉	107.4	秋田	60.5	福岡	17.8	福岡	6.5	静岡	13.1	岩手	3.4	福島	8.8	栃木	4.8	奈良	22.8	群馬	6.6	福岡	10.7	愛知	4.1	千葉	2.4	宮崎	12.5	鳥根	7.3	
宮崎	83.5	埼玉	107.5	鹿児島	60.5	富山	17.8	岡山	6.5	北海道	13.5	鳥取	3.5	千葉	8.9	福岡	4.8	宮城	22.8	熊本	6.6	青森	10.7	福岡	4.2	鳥根	2.4	鹿児島	12.6	滋賀	7.3	
千葉	83.6	宮崎	108.8	岩手	60.5	埼玉	17.9	埼玉	6.6	青森	13.6	宮城	3.5	石川	8.9	東京	4.8	佐賀	23.0	千葉	6.7	千葉	10.8	京都	4.2	東京	2.5	岩手	12.8	長野	7.3	
鹿児島	83.8	新潟	109.1	千葉	60.7	岐阜	17.9	山形	6.6	茨城	13.7	栃木	3.6	長崎	8.9	埼玉	4.8	新潟	23.0	神奈川	6.8	栃木	10.8	愛媛	4.2	神奈川	2.5	神奈川	12.8	千葉	7.4	
栃木	84.1	宮城	109.1	宮城	60.8	千葉	17.9	群馬	6.6	鳥根	13.8	和歌山	3.7	愛知	8.9	広島	4.8	東京	23.3	山口	6.8	静岡	10.8	山形	4.3	福島	2.5	愛知	12.8	和歌山	7.5	
京都	84.4	鳥根	109.5	愛知	61.0	愛媛	17.9	愛知	6.7	鹿児島	13.8	岐阜	3.7	茨城	8.9	鳥根	4.8	岐阜	23.5	愛知	6.8	大阪	10.8	山口	4.3	大分	2.5	佐賀	12.9	神奈川	7.6	
福島	84.8	福島	109.7	石川	61.2	和歌山	17.9	兵庫	7.0	京都	13.8	香川	3.8	東京	9.0	兵庫	4.8	香川	23.5	埼玉	6.8	岡山	10.8	宮崎	4.3	鹿児島	2.5	宮城	13.0	岩手	7.6	
岩手	84.8	鹿児島	109.9	群馬	61.3	石川	18.2	千葉	7.1	岡山	14.2	大分	4.0	宮城	9.1	長崎	4.8	愛知	23.5	三重	6.8	山口	10.8	千葉	4.4	兵庫	2.5	福岡	13.0	高知	7.6	
埼玉	84.9	東京	109.9	茨城	61.4	宮城	18.3	香川	7.1	山梨	14.5	鹿児島	4.1	滋賀	9.2	秋田	4.9	福井	23.6	石川	7.0	秋田	10.8	北海道	4.4	福岡	2.5	新潟	13.2	東京	7.7	
岐阜	85.3	愛媛	110.0	宮崎	61.5	兵庫	18.3	愛媛	7.2	熊本	14.5	滋賀	4.2	長野	9.2	神奈川	4.9	福島	24.0	佐賀	7.1	愛知	10.8	大阪	4.5	栃木	2.5	北海道	13.4	愛知	7.8	
東京	85.4	茨城	111.4	福島	61.6	奈良	18.3	福島	7.5	徳島	14.6	宮崎	4.2	奈良	9.3	高知	4.9	鳥取	24.0	鹿児島	7.3	鳥取	11.0	静岡	4.5	静岡	2.5	茨城	13.4	福岡	7.8	
鳥取	85.8	岩手	113.8	神奈川	62.2	鳥取	18.4	佐賀	7.5	鳥取	15.0	熊本	4.3	鳥取	9.3	長野	5.0	三重	24.1	青森	7.3	神奈川	11.0	茨城	4.5	熊本	2.6	山口	13.4	大阪	7.8	
茨城	86.2	鳥取	114.2	栃木	62.4	茨城	18.6	滋賀	7.6	大分	15.1	大阪	4.3	大阪	9.3	静岡	5.0	沖繩	24.3	兵庫	7.3	石川	11.1	徳島	4.6	愛知	2.7	千葉	13.5	京都	8.0	
兵庫	86.9	兵庫	116.3	埼玉	62.8	新潟	18.6	大阪	7.6	兵庫	15.7	広島	4.4	大分	9.5	京都	5.2	広島	24.6	宮城	7.4	富山	11.2	熊本	4.6	滋賀	2.7	福島	13.6	埼玉	8.0	
秋田	88.6	長崎	117.3	東京	63.0	福島	18.7	栃木	7.6	山口	15.7	福井	4.4	新潟	9.5	岐阜	5.2	福岡	24.9	岐阜	7.4	北海道	11.2	群馬	4.7	宮城	2.7	埼玉	13.9	北海道	8.1	
和歌山	88.8	山口	117.9	福岡	63.6	山口	18.9	茨城	7.6	宮崎	15.8	山口	4.4	秋田	9.5	愛媛	5.3	山口	25.1	高知	7.5	長野	11.4	長野	4.7	岡山	2.7	鳥取	14.3	三重	8.1	
福岡	89.0	福岡	119.0	京都	64.0	栃木	19.3	岐阜	8.0	大阪	16.2	兵庫	4.5	鳥根	9.6	大阪	5.4	兵庫	25.1	福岡	7.5	岐阜	11.4	秋田	4.8	北海道	2.8	大阪	14.3	宮城	8.3	
山口	89.0	高知	121.0	山口	64.3	高知	19.4	秋田	8.2	広島	16.2	福岡	4.5	青森	9.8	青森	5.4	石川	25.4	京都	7.6	長崎	11.5	鹿児島	4.8	埼玉	2.8	東京	14.3	長崎	8.3	
長崎	90.8	秋田	122.7	大阪	66.2	岩手	20.2	和歌山	8.3	長崎	16.9	山梨	4.6	福井	9.9	福島	5.5	長崎	25.6	東京	7.6	京都	11.6	埼玉	4.9	福井	2.8	群馬	14.5	福島	8.7	
佐賀	92.2	和歌山	123.5	北海道	67.7	大阪	20.3	長崎	8.3	高知	17.0	長崎	4.7	和歌山	10.4	宮城	5.6	大阪	27.4	和歌山	7.8	山形	11.7	青森	5.0	群馬	2.9	富山	14.6	山口	8.7	
北海道	93.1	北海道	123.8	岐阜	67.8	青森	20.6	新潟	8.3	和歌山	17.0	愛媛	4.8	岩手	10.7	茨城	5.6	高知	28.1	鳥取	7.8	東京	11.8	長崎	5.2	山口	3.3	栃木	15.3	岐阜	8.9	
高知	93.2	大阪	123.9	高知	68.0	佐賀	20.8	山口	8.6	愛媛	18.1	佐賀	5.0	佐賀	10.9	滋賀	5.7	和歌山	28.1	奈良	7.9	岩手	12.0	岐阜	5.6	徳島	3.4	沖繩	17.8	群馬	9.0	
大阪	93.8	佐賀	128.1	青森	68.2	山形	21.7	鳥取	8.7	福岡	18.4	徳島	5.2	愛媛	11.0	北海道	6.4	北海道	30.0	大阪	8.3	埼玉	12.1	沖繩	6.0	佐賀	3.6	青森	18.5	青森	9.1	
青森	98.4	青森	135.5	長崎	68.6	秋田	24.7	青森	9.1	佐賀	21.5	高知	5.5	北海道	11.4	宮崎	6.7															

## 2009年度 がん検診の実施状況から ◆胃がん

団体	受診者数 (A)	要 精検者数 (B)	要 精検率 B/A×100	精 検 受診者数 (C)	精 検 受診率 C/B×100	検 査 結 果					
						胃がん (D)	胃がん 疑い	胃ポリ ープ	胃潰瘍	十二指 腸潰瘍	胃がん 発見率 D/A×100
北海道	137,327	9,608	7.0	8,303	86.4	232	1	1,307	439	90	0.17
青 森	80,712	8,022	9.9	6,377	79.5	95	19	804	345	96	0.12
岩 手	124,586	9,428	7.6	8,147	86.4	177	0	1,233	854	346	0.14
宮 城	194,013	15,921	8.2	14,320	89.9	191	0	6,447	490	79	0.10
秋 田	40,330	4,151	10.3	3,024	72.8	45	9	621	341	64	0.11
山 形	104,673	9,791	9.4	7,780	79.5	101	23	1,124	388	108	0.10
福 島	109,256	10,962	10.0	8,698	79.3	138	7	1,114	1,063	401	0.13
茨 城	97,083	13,451	13.9	10,563	78.5	134	23	1,295	1,048	393	0.14
栃 木	住 49,417	3,734	7.6	2,824	75.6	63	9	689	122	38	0.13
	職 21,225	1,804	8.5	-	-	-	-	-	-	-	-
群 馬	48,861	5,844	12.0	5,132	87.8	96	4	528	228	52	0.20
埼 玉	58,596	5,502	9.4	3,503	63.7	56	9	689	249	177	0.10
千 葉	154,758	13,370	8.6	10,264	76.8	225	41	1,567	1,002	407	0.15
新 潟	110,809	8,087	7.3	7,292	90.2	248	30	1,659	336	85	0.22
山 梨	16,502	2,005	12.2	1,481	73.9	12	5	308	116	21	0.07
長 野	73,695	8,318	11.3	5,824	70.0	81	0	1,236	165	41	0.11
富 山	48,381	4,139	8.6	3,129	75.6	44	5	665	279	65	0.09
石 川	28,854	3,719	12.9	2,959	79.6	56	0	387	87	26	0.19
福 井	35,340	3,026	8.6	2,207	72.9	56	0	377	69	17	0.16
愛 知	22,335	1,355	6.1	1,076	79.4	19	0	213	38	10	0.09
三 重	22,207	1,190	5.4	852	71.6	15	0	225	80	10	0.07
滋 賀	11,909	1,052	8.8	900	85.6	21	0	153	57	6	0.18
京 都	住 34,549	6,080	17.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	職 24,429	2,543	10.4	28	1.1	2	1	16	9	0	0.01
兵 庫	90,061	4,578	5.1	2,478	54.1	60	1	452	430	94	0.07
和歌山	20,956	1,953	9.3	1,211	62.0	10	0	325	39	17	0.05
鳥 取	29,846	2,014	6.7	1,295	64.3	25	9	274	173	40	0.08
島 根	38,198	3,153	8.3	1,987	63.0	35	13	340	337	90	0.09
岡 山	33,411	2,109	6.3	1,132	53.7	16	7	204	61	18	0.05
広 島	25,737	1,471	5.7	950	64.6	19	7	197	74	16	0.07
山 口	38,142	3,457	9.1	1,118	32.3	10	1	299	135	20	0.03
徳 島	28,416	1,429	5.0	1,062	74.3	23	4	250	45	30	0.08
香 川	27,384	1,774	6.5	1,680	94.7	39	1	216	68	22	0.14
愛 媛	49,989	3,717	7.4	2,768	74.5	61	0	602	320	79	0.12
高 知	60,275	2,810	4.7	2,342	83.3	49	11	346	315	54	0.08
福 岡	81,763	5,537	6.8	4,202	75.9	101	8	629	248	65	0.12
佐 賀	30,194	4,403	14.6	3,559	80.8	60	8	540	301	139	0.20
長 崎	30,203	2,320	7.7	1,958	84.4	22	8	312	78	26	0.07
熊 本	50,691	4,068	8.0	3,042	74.8	40	2	684	98	36	0.08
大 分	23,528	2,150	9.1	1,841	85.6	20	5	349	138	77	0.09
宮 崎	28,495	2,789	9.8	2,418	86.7	33	2	385	100	30	0.12
鹿 児 島	104,316	10,265	9.8	8,939	87.1	96	7	922	369	166	0.09
沖 縄	36,296	4,081	11.2	2,317	56.8	12	0	297	66	31	0.03
合 計	2,477,748	217,180	8.8	160,982	76.9	2,838	280	30,280	11,200	3,582	0.12
<注>合計欄の精検受診率、検査結果発見率、がん発見率の 各分母から、栃木(職域)・京都(住民)を除いて算出。						発見率→	1.25	0.46	0.15		

## 2009年度 がん検診の実施状況から ◆大腸がん

団体	受診者数 (A)	要 精検者数 (B)	要 精検率 B/A×100	精 検 受診者数 (C)	精 検 受診率 C/B×100	検 査 結 果			
						大腸がん (D)	大腸が ん 疑い	ポリープ	大腸がん 発見率 D/A×100
北海道	127,066	9,437	7.4	7,965	84.4	280	2	3,618	0.22
青 森	87,336	4,552	5.2	3,573	78.5	108	34	1,516	0.12
岩 手	116,129	5,822	5.0	4,878	83.8	237	0	2,154	0.20
宮 城	75,677	4,163	5.5	3,742	89.9	185	0	763	0.24
秋 田	52,117	3,548	6.8	2,541	71.6	134	7	1,179	0.26
山 形	112,394	6,384	5.7	4,583	71.8	144	19	1,918	0.13
福 島	113,650	8,212	7.2	5,726	69.7	138	3	2,457	0.12
茨 城	134,573	9,908	7.4	6,667	67.3	225	26	3,102	0.17
栃 木	住 55,750	2,769	5.0	1,799	65.0	69	11	709	0.12
	職 22,484	1,001	4.5	-	-	-	-	-	-
群 馬	33,185	1,704	5.1	1,328	77.9	57	2	110	0.17
埼 玉	住 9,374	784	8.4	530	67.6	19	3	213	0.20
	職 22,735	2,116	9.3	-	-	-	-	-	-
千 葉	102,523	6,875	6.7	4,504	65.5	145	27	2,044	0.14
新 潟	118,413	7,145	6.0	6,032	84.4	317	24	2,216	0.27
山 梨	12,745	688	5.4	341	49.6	11	0	156	0.09
長 野	101,296	6,016	5.9	3,726	61.9	128	0	1,523	0.13
富 山	34,988	2,235	6.4	1,465	65.5	74	0	580	0.21
石 川	22,809	1,620	7.1	1,154	71.2	38	1	449	0.17
福 井	43,132	2,424	5.6	1,786	73.7	69	0	885	0.16
愛 知	11,445	900	7.9	630	70.0	19	2	239	0.17
三 重	23,352	1,332	5.7	870	65.3	28	0	352	0.12
滋 賀	9,604	671	7.0	534	79.6	19	0	240	0.20
京 都	58,292	4,901	8.4	-	-	-	-	-	-
兵 庫	78,655	3,429	4.4	1,145	33.4	46	440	659	0.06
和歌山	18,952	1,080	5.7	475	44.0	18	0	199	0.09
鳥 取	34,848	2,023	5.8	1,188	58.7	52	1	492	0.15
島 根	42,842	1,842	4.3	1,028	55.8	67	2	415	0.16
岡 山	34,717	2,520	7.3	1,149	45.6	16	7	477	0.05
広 島	29,871	1,986	6.6	1,308	65.9	33	0	871	0.11
山 口	46,954	2,457	5.2	594	24.2	29	0	255	0.06
徳 島	21,831	1,668	7.6	878	52.6	16	3	394	0.07
香 川	19,613	1,244	6.3	1,080	86.8	29	0	498	0.15
愛 媛	59,749	3,525	5.9	2,354	66.8	60	1	856	0.10
高 知	58,390	1,888	3.2	1,234	65.4	65	4	589	0.11
福 岡	52,832	3,148	6.0	1,991	63.2	68	1	922	0.13
佐 賀	18,742	1,403	7.5	1,112	79.3	25	4	551	0.13
長 崎	35,498	2,573	7.2	2,000	77.7	59	12	859	0.17
熊 本	49,697	3,307	6.7	2,147	64.9	50	3	1,066	0.10
大 分	26,264	1,726	6.6	1,360	78.8	50	0	593	0.19
宮 崎	19,728	1,510	7.7	1,163	77.0	31	1	531	0.16
鹿 児 島	54,471	3,970	7.3	3,071	77.4	100	2	1,451	0.18
沖 縄	45,231	2,619	5.8	1,396	53.3	55	5	618	0.12
合 計	2,249,954	139,125	6.2	91,047	69.4	3,313	647	38,719	0.15

<注>合計欄の精検受診率、がん発見率の各分母から栃木と埼玉の職域、京都を除いて算出。

# JKAの補助で3団体に最新式の検診車

## 早期発見に期待

財団法人JKAの補助を得て、日本対がん協会グループの提携団体3団体に、最新式の検診車が導入された。岩手と岡山には胃がん検診車、山梨には胃・胸の検診車。最近の検診車はデジタル式になってデータの保存や送信などが可能になっているうえ、画質も非常に良くなっている。受診者の方々が検診を受けやすいように、居住性にも配慮されるなど、受診率向上につながる工夫も凝らされている。それぞれの団体では、より多くの人たちに検診を受けてもらい、早期発見につなげたい、とその活躍を期待している。

### 胃・胸の検診車を導入 山梨県健康管理事業団

がん検診の普及を進めている山梨県健康管理事業団は、胃と胸の両方をX線撮影できる検診車を導入し、2月16日に披露した=写真。画像の精度が高く、胃と肺がんの早期発見が期待されている。4月から市町村や学校、企業などを巡回する。

全長約10メートル。車内の前部で胃を、後部で肺を撮影

できる。整備費用は6273万7500円。うち2205万円を財団法人JKAからの補助で、残りは市町村からの法令外負担金などでまかされた。

県によると、がんは県内の死亡原因で最も多く、2009年は総死亡者数の27%にあ

る2327人が亡くなった。導入した検診車は画像をその場で放射線技師が確認で



するのが特徴で、胃と肺で年間計約6万人の検診が可能。

(朝日新聞甲府総局

福山亜希記者)

### 岡山には胃がん検診車

高画質のデジタル撮影ができる最新型の胃がん検診車が、岡山県健康づくり財団(岡山市北区平田)に導入された=写真。

整備費用は4267万2000円。うち2047万5000円は、日本対がん協会を通じて、競輪とオートレースを振興している「財団法人JKA」(東京都)の補助を受けた。

全長約9メートル、幅約2.5メートル、高さ約3.3メートル。透視撮

影台などを備えた胃の集団検診用X線システムを搭載している。従来のカメラよりも大きく表示でき、検診の精度がアップ。過去の画像とすぐに比較でき、受診者により詳しい情報提供ができるという。

県健康推進課によると、2008年度に、保健所や市町村の委託医療機関での胃がん検診率(事業所で受診した人を除く)は18.4%。

乳がん15.1%、子宮がん21.5%、大腸がん23.8%、肺がん32.1%となっている。

最新型を含め計5台の検診車を所有する県健康づくり財団では、胃がん検診の受診件数は年間約2万8千件。県全体(約9万9千件)の約28%を占める。国は11年度末までに、各がんの検診率を50%



以上に引き上げる目標を立てており、「さらなるアップにつなげたい」としている。

(朝日新聞岡山総局

塩野浩子)

### 岩手にはコンパクトな胃がん検診車

最新のフルデジタル透視システムを搭載した胃がん検診車が岩手県対がん協会に導入され、昨年12月22日に披露された=写真。コンパクトながら居住性にも配慮された「岩手県オリジナル仕様」。一人でも多く、早期胃がんを見つけ、県民の健康に資する活動につなげる、という。

胃がん検診車は一般的に全長10メートルクラスが多い。しかし、今回の検診車は8メートル台の小型シャーシを採用。それでも工夫を凝らして十分な居住性と検診の効率性を実現した。

披露式には日本対がん協会の塩見知司・理事・事務局長や、岩手県対がん協会の千葉洋志・専務理事らが出



席し、テープカットをした。

整備費用は4084万5000円。うち2042万2500円を財団法人JKAからの補助で賄った。

岩手県対がん協会では、このほか、乳がんのマンモグラフィ検診車を自己資金で整備するなど、検診車の充実に努めている。